

活動報告

学生団体イロドリ

なにいろ ~わたしの色をさがそう~



企画の目的

- 1.生産者のもとで廃棄される果物・野菜を新たなモノづくりに生かすことで、ゴミになる生産物の削減に貢献する。
- 2.食品廃棄に対する学生の問題意識を高め、食べ物の大切さを実感してもらう。

企画の概要

- 1.廃棄予定で食べることのできない生産物を県内の農家の方からいただき、それらを染料にしてブックカバーやトートバッグなどの製品を制作する。ワークショップを開催し、参加者のフードロスに対する意識の向上と、食品問題に関する問題の周知を目指す。
- 2.フードロスについてまとめたガイドブックを発行し、フードロス問題への学びを深めるとともにより多くの人に本問題について考えるきっかけを提供する。

活動スケジュール

| | |
|-----------------|--------------------|
| 2023/7-2023/11 | 協力していただく農家探し |
| 2023/7- | 試作品づくり |
| 2-23/7-2023/11 | ガイドブック作成に向けた勉強会の実施 |
| 2023/10-2023/12 | ワークショップの開催（3度） |
| 2023/11-2-24/3 | ガイドブックの作成 |

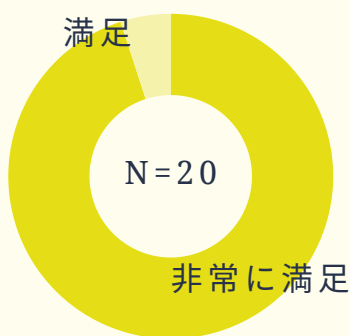


活動成果

1) 試作品づくり・ワークショップの開催について

2023年7月から福岡県内の農家に声をかけ、廃棄予定の農作物を譲っていただきました。それらを使い、ワークショップで行う染め物体験に向けた試作会を行いました。2023年10月から3回のワークショップを行い、計22人（うち未就学児1名）に参加していただきました。

Q.ワークショップの満足度



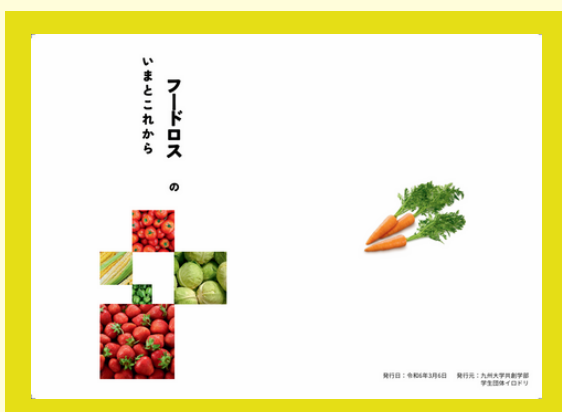
Q.このワークショップをきっかけに今後食品問題についてもっと知りたい・学びたいと感じた



ワークショップの開催を通して、参加者の課題意識 & 問題の周知度アップ

2) ガイドブックの作成について

ワークショップの開催と並行し、ガイドブックの作成に向けた勉強会を開催しました。フードロスや日本の流通業態に関する書物を読み意見交換をしたほか、学生にインタビューをして食生活の実態をまとめたり海外のフードロス対策と比較したりするなどコンテンツの充実を目指しました。



完成したガイドブックは
センター5号館3階
エレベーター前

に置いてあります。
ぜひお手に取ってご覧ください！